



MapInfo Professional®

進化した高機能ロケーションインテリジェンス

意志決定とデータ分析を支援する位置情報ソフトウェア

従来からの地理情報システム (GIS) によるマッピング機能、最新のデータ品質やジオデモグラフィックデータを統合した MapInfo のロケーションインテリジェンス技術を活用すれば、より高度な意志決定が可能となります。

高い精度の新しい観点を持って顧客を観察する

ビジネス情報の 70% 以上には位置情報が含まれているといえます。

位置情報は、単に「どこ」というシンプルな情報を超越した価値を提供します。すなわち、位置情報は、人口統計、競合企業、保有資産、顧客など異なるデータ要素同士をつなげる定数として機能します。ロケーションインテリジェンスの活用により、これらの大量データから顧客の要望を探し当て、ひいては真のビジネス価値へ転化することができます。

ピツニーボウズ・ソフトウェアは、位置情報を活用して企業データや市場データを容易に視覚化することができます。そして、ターゲットやネットワーク、そしてリスクに対してよりスマートな選択を可能とします。私たちが持つジオコーディング、マッピング、データとそれらの分析能力によって、ビジネスの判断をより正確で信頼性を高くすることができます。

位置情報の活用により、顧客や市民との関係を築き、より深い関係への成長を促します

最も売上が望めるポケットを持つ人はどこにいるのだろうか？

スムーズな対応を確保するために、どのようなチーム編成が必要なのだろうか？

電話で問い合わせをいただいたお客様に、どんな提案をしたら一番響くのか？

こんなありふれた疑問の解決に、位置情報ベースでの思考がお客様との関係にインパクトを与えるものとなります。

● 市場分析

特定地域の人口分布、収入傾向や消費行動の地理的統計を理解すれば、新製品発売の成功に近づきます。

● リスク分析

資産とリスク要因との距離を正確に特定する能力を持てば、その保険の引き受けが適正な価格で契約されているのか判断ができます。

● 効率的なターゲティング

商圏内での特定の消費者に絞り込みを行い、利便性の向上策を行った結果、これまで売上が悪かった消費者が一躍利益に貢献する顧客に変貌します。

● ネットワーク資産に対する投資

発電所、電波塔、ATM、公共施設、小売店舗などの戦略的資産の配置や管理には億を超える投資が必要になることが多くあります。失敗すればその影響は長期に及びます。

● 市民サービス

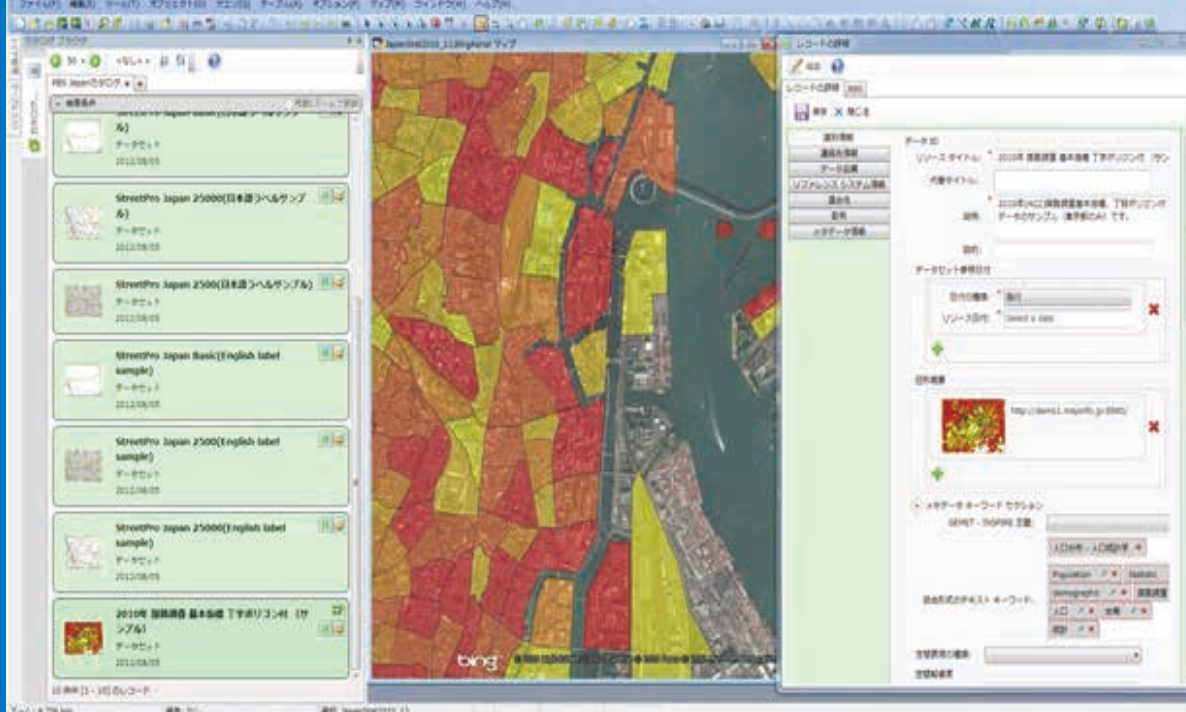
顧客や市民に施設や公共サービスの位置情報を公開することは、都市計画や政策管理における市民理解の進展が期待できます。

「ロケーションインテリジェンスは我が社のビジネス展開に不可欠のツールです。

このツールのおかげで、データと分析と戦略が繋がり、その関係を全従業員が理解できるようになりました。このわかりやすさは、ただもう驚きです。」

Ron DiGrandi 氏
Director of Business
Development
Time Warner Cable

MapInfo Managerは、地理データの国際規格(OGCの定めるCSW規格)に則ったカタログを生成することができます。MapInfo Professional からこのカタログにアクセスすれば、組織内での地理データの共有をはじめとした空間データの一元管理が行えます。



MapInfo Suite

MapInfo Suiteとは、Windows ベースのマッピングアプリケーションである MapInfo Professional を核として、進化したロケーションインテリジェンスの活用を推進する MapInfo の製品群を指します。

● MapInfo Manager

空間データカタログを通じて組織内のデータ資産のシェアと管理を行い、空間データ管理の一元化を実現します。

● Spectrum Spatial

エンタープライズレベルのマッピングやジオコーディングサービスにてロケーションシステムの統合を実現します。

● MapInfo Stratus (日本未発売)

MapInfo Professional で作成したマップをクラウド環境を通じてウェブマッピングで組織内外にシェアできます。

● MapInfo MapBasic

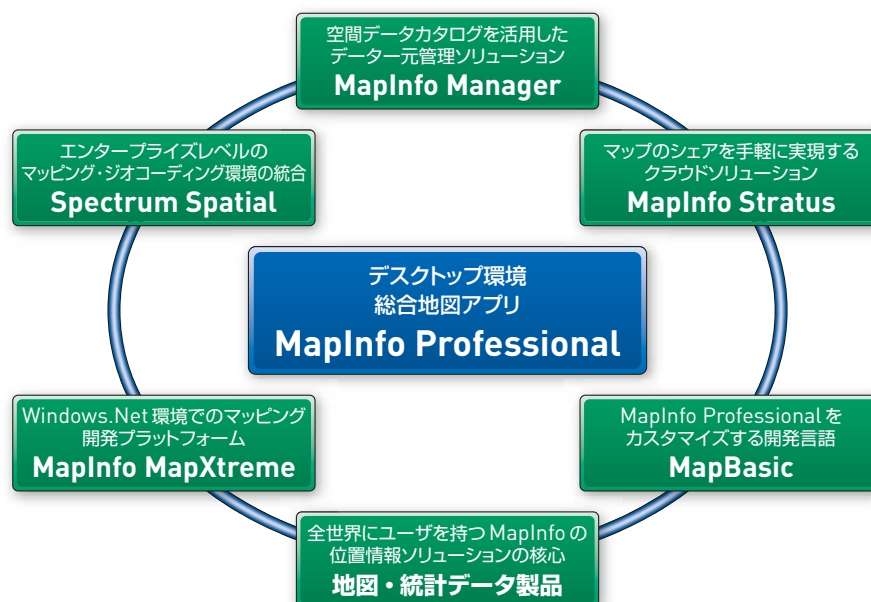
MapInfo Professional 上でカスタムアプリを構築するための開発言語です。繰り返し作業や特定業務の操作性向上に威力を発揮します。

● MapInfo MapXtreme

Windows.NET 環境において、デスクトップ/Web 環境を問わず、社内業務アプリ等と統合してマッピングアプリを開発するためのツールです。

● 地図・統計データ

ロケーションインテリジェンスの活用には、地理的データの存在は不可欠です。日本のみならず世界中のビジネスマッピングのノウハウを集約したデータ群を提供します。



ロケーションインテリジェンスから得られる知見により、サービス向上の実現、業務パフォーマンスの向上、運用コストの削減、IT投資の効率アップが実現可能です。

MapInfoチームは、ロケーションベースのテクノロジーを通じて、このような導入メリットの実現に向けた支援を確実にします。

多彩なデータ アクセス

MapInfo Professionalは、多種多様なデータ形式に直接アクセスするための機能を組み込んでいます。したがって、導入後すぐに、OracleやMicrosoft SQL Serverなどのデータベースはもちろん、Microsoft ExcelやAccessなどの多くのファイル形式を直接参照することが可能です。さらに任意の形式の画像データを読み込むこともできます。したがって、現在運用中の既存のIT環境にスムーズにMapInfo Professionalを導入することができます。

マップによるビジュアライズ展開

多彩なマップ表示が実現できることが、MapInfo Professionalの最大の特長です。領域、境界線、高速道路、通信回線、各種ポイントに対し、任意のデータ値に基づいた主題図作成、そのスタイル変更などが瞬時に実行できます。ある領域に含まれるオブジェクトを関数を用いて集計し、計算値に基づいてポイントや領域等に任意のシンボルや色で表現させることもできます。こうすることで地理的傾向が浮かび上がり、そのパターンが明らかとなるため、より効果的な判断が素早くできるのです。

空間データ処理

データ処理、特に空間データ処理こそ、MapInfo Professionalの能力が発揮される分野です。たとえば「店舗から1km以内のすべての顧客を表示せよ」といった地理情報に基づくクエリを通じて、実効的な商圏が瞬時に表現できます。主要道路や町丁目界などの地理領域を結合したり分割する作業を行えば、ユーザー独自の商圏を作成することもでき、新たな発見が得られることもあります。MapInfo Professionalを導入するあらゆる業界でこの機能が活用され、多くのメリットが得られています。

パワフルな図形編集機能

MapInfo Professionalは、表形式データ内の値や名前など属性データの編集機能はもちろんのこと、地図作図や編集を容易にする多機能な図形編集のためのCADツールも提供します。このため、図形編集やデータの作成のために複数のアプリケーションを切り替えて使用する必要はありません。すべてのデータ作成と編集作業は、MapInfo Professionalのみで完結しますので、作業時間および作業工数が大幅に短縮します。

データおよびマップの公開

情報があったとしても、それが公開され活用されなければ価値は半減してしまいます。今日のIT環境では、アプリケーション間のデータ交換やインターネット上でのデータ公開において、複数の方法を提供することは常識です。

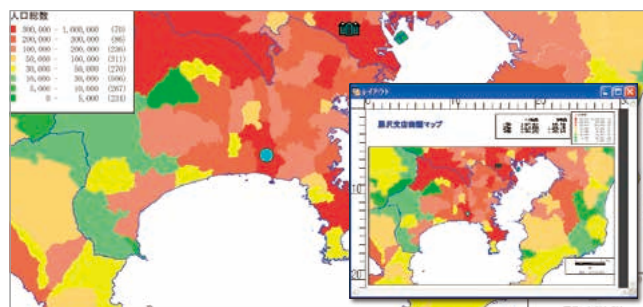
MapInfo Professionalには、多種多様な選択肢があります。任意のデータ形式の読み書きから、地理情報を参照できるPDFへの出力、クラウド上でのマップの公開にいたるまで、多彩なデータ公開のソリューションを提供します。



ロケーションインテリジェンスを実現するMapInfo Professionalでは、データは複数のビューを持つことが普通です。空間的な分布をマップで表現すると同時に、関連する詳細な情報はブラウザ表示で確認することができます。



各支店から300mのバッファ（領域）を作成。マーケットを効率よくカバーしているかどうかを周囲の環境とあわせて分析します。また、HotLink機能を活用して、画像などの外部データなど、さまざまな情報とリンクさせることが可能です。



レイアウトウィンドウは、マップやグラフ、データテーブル、タイトルなどMapInfo Professionalで扱うさまざまなデータを見栄え良く配置し、印刷することができます。各データはドラッグ&ドロップで位置の移動やサイズ変更が簡単にでき、思い通りのデザインを作り上げることができます。

MapInfo Professionalでは、表現したいテーマに沿った、多彩なマップ表現が可能です。



1年間の無償テクニカルサポート

MapInfo Professional を新規ライセンスでお求めの際には、1年間の無償テクニカルサポートが提供されています。したがって、はじめて操作に触れる方でも安心して製品の導入ができます。

テクニカルサポートの内容

- 操作上の疑問点の解消
- その他 MapInfo Professional 全般に関わる技術的な問題の解消
- マニュアル範囲内での問題点の解消
- MapInfo 製品の使用に役立つ情報を提供するメールマガジンのお届け

※ 無償テクニカルサポート満了後は、必要に応じてサポートを継続できます(有償)。

トレーニングサービス

MapInfo 製品の技術を短期間で習得していただくためのトレーニングを実施しております。MapInfo Professional の基礎操作から開発者向けのコースまで、さまざまなトレーニングコースを取り揃えております。

トレーニングサービスの内容

- MapInfo Professional 基本操作 1
- MapInfo Professional 基本操作 2
- MapBasic
- その他、MapXtreme などの開発向け製品のトレーニングも随時実施しています。



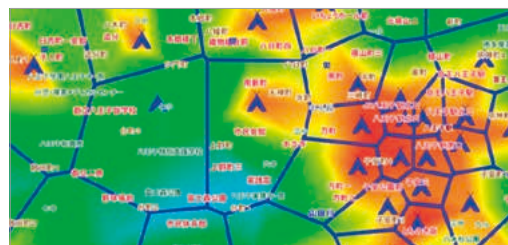
MapInfo ProfessionalにはCAD的な利用を支援するMapCADを標準搭載しています。図形オブジェクトを容易に編集することができます。

マッピングの経験がなくても、プレゼンテーションや印刷に 耐えうる、見栄えよいインパクトがあるマップを作成できます。

【通 信】

ネットワーク管理と通信サービス状況の地理的分析・改善

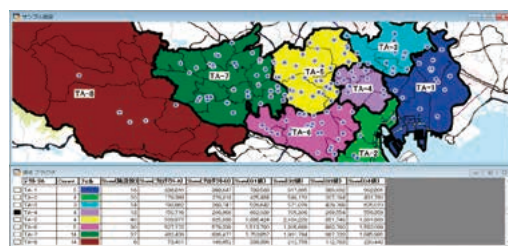
日々更新される顧客の位置を地図上で管理します。通信サービスエリア、その他主要道路などのレイヤとの重ね合わせにより顧客の位置を的確に把握すると同時に、日々のサービス状況をデータベースに蓄積します。さらに各顧客に紐付けされた現状のサービス状況からサポートのリソースを地理的に且つ戦略的に配置します。ネットワーク計画・管理・保守に加えてカスタマーサービスの改善を促進します。



【金融・保険・不動産】

店舗配置、物件管理からインフォメーションターミナルまで

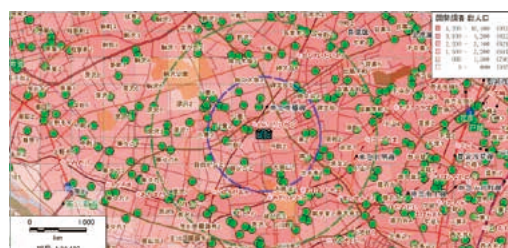
人口統計、経済指標データを地図上でプロットし、独自の店舗営業データと統合し、これらデータをもとに銀行支店及びATMを適切に配置することができます。また環境データとあわせて災害リスク分析の実施が可能です。不動産分野では物件の管理や査定をマッピングで効率化し、インターネット上でATMの設置場所案内や不動産物件案内サイトなど、幅広い用途が考えられます。



【小 売】

潜在顧客をいち早く発見し的確にCRMを展開

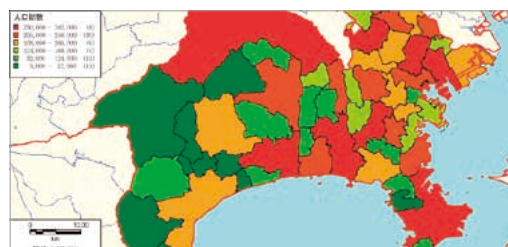
出店計画には人口統計データを用いパッパ機能で商圏分析を行います。地図上の既存顧客に対して様々な情報を紐付けしプロフィールを作成、管理し、またその顧客データをもとに地理的に効率的な営業支援を実施します。効率的な広告計画を行うために潜在顧客の集中地域を的確に把握し、計画を立てることができます。



【サービス業】

他店との競争を勝ち抜く見栄えの良い地図と正確な分析

折込広告などの配布エリアをわかりやすく表現した配布エリア地図は、部数表をより視覚的に説明するために、広告主に対する提案書作りには必要不可欠な資料となります。他社に先んじて業務を受注するための提案書の作成が迅速にできます。



【行 政】

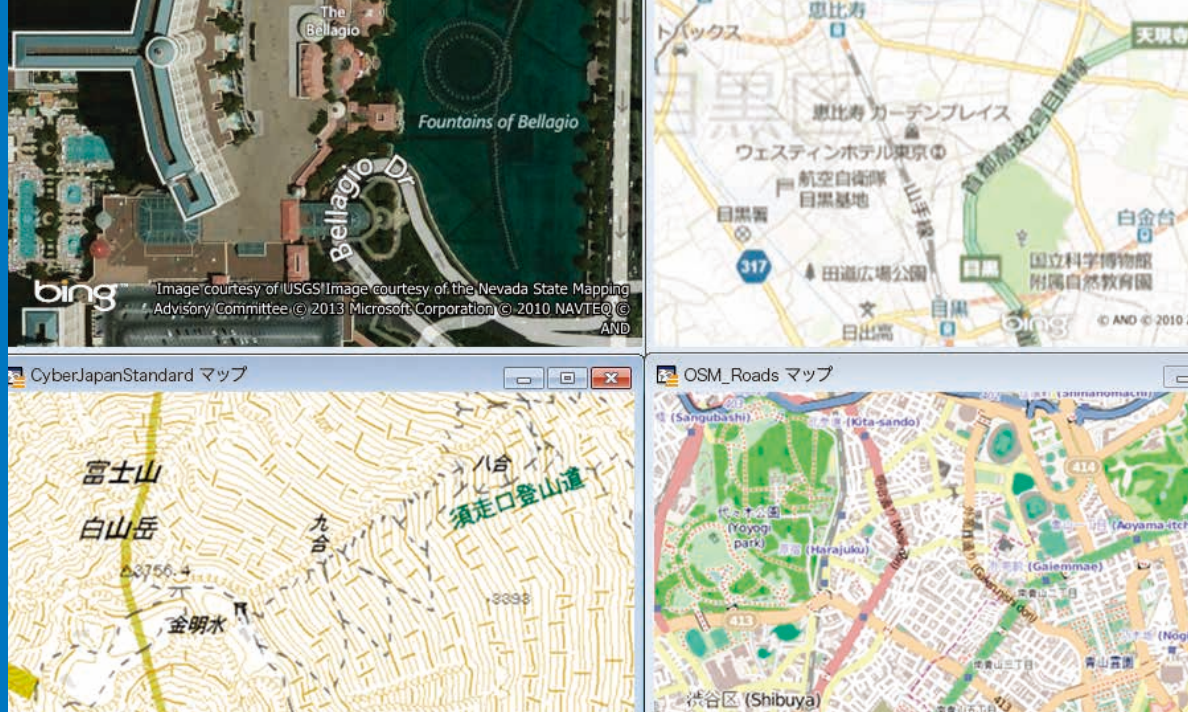
市民サービスに重点を置いた都市・地域計画

環境情報や人口統計データ、経済指標データ等地方行政が保持する様々なデータを地図上に展開します。地域の防災、経済開発、交通分析、文化財管理、犯罪分析を目的とした都市計画や財産管理など、より良い市民生活のサポートに活用できます。またサーバ製品、MapXtremeとの連携で地域生活に便利な情報を地図上で表示、インターネット上での市民向け情報提供を支援します。



Microsoft® Bing マップをはじめとしたタイルマップは背景マップとして活用することができます。Bing 航空写真とハイブリッド、および日本の電子国土 Web システムは MapInfo Professional 内で無料で使用できます。

※ Bing 道路マップは有償のプレミアムサービスとして提供されます。



テクニカル要件

インテグレーション

オブジェクトリンクやアプリケーションへの組み込みには、Visual Basic や Delphi、C++、C# 等の一般的な開発言語を使用して構築が可能です。MapBasic は XML、FTP や HTTP もサポートしています。ダイナミックデータエクスチェンジ (DDE) を通じて他のアプリケーションとの通信を行うことも可能なほか、MapBasic のアプリケーションが Windows の DLL ルーチンや .NET アセンブリを呼び出すこともできます。

業界標準の出力オプション

分析結果を業界標準のフォーマットで共有できるという機能は、情報そのものと匹敵するほど重要です。今日の IT 環境では、複数の公開オプションを持っている必要があり、異なるアプリケーション間での情報の取り回しには不可欠なものです。

MapInfo Professional は、このための選択肢を用意しています。凡例や図表を含めてシームレスに広範囲のマップを公開するために、様々なフォーマットでデータをエクスポート可能となっており、異なるアプリケーション間でシームレスに情報を活用できます。

ビジネス標準の IT システムおよび ODBC 準拠データベースとの接続

MapInfo Professional は、最新の Windows オペレーティングシステムおよび Microsoft Excel や Microsoft Access、Microsoft SQL Server、SQLite、オラクル、PostgreSQL (PostGIS)、 delimited ASCII を含む csv、dBase、ロータス 1-2-3 等の一般に使用されることが多いデータ形式でテスト、サポートを行っています。

同時に、MapInfo Professional は、Open GeoSpatial Consortium (OGC) の GML、WMS、WFS、WFS-T、タイルサーバー、CSW、GoogleKML を一例としたオープンスタンダードもサポートしています。

「高い水準のサービスをコスト効率の高い手法でコミュニティに提供するためには、地方議会にとって GIS は不可欠なものです。ポーツマス市議会は MapInfo Professional を導入したことで、これを証明しました。」

John Shurvinton 氏
ポーツマス市議会 GIS マネージャー



ピツニーボウズ・ソフトウェア株式会社
〒150-0012
東京都渋谷区広尾 1-1-39 恵比寿プライムスクエアタワー 13 階
TEL : 03-6805-1155 / FAX : 03-6805-1123
e-mail : PBBJ-Japan@pb.com
Web : <http://www.mapinfo.co.jp/>

MapInfo 製品のソリューション導入のお問い合わせは販売代理店まで。

©2013 Pitney Bowes Software, Inc. All rights reserved.
ここに記載されている製品およびサービス名は、各社の商標です。

代理店・販売店

